

## 《言葉の発達とテレビ・スマホの関係性》 2歳までのテレビ・スマホは控えましょう！

子どもが話すようになるには、会話を聞き言葉を覚えることが大切です。また、人とコミュニケーションをとることで言葉を話そうという気持ちが芽生えていきます。

子どもの問いかけにこたえてくれないテレビ・動画の視聴は、言葉や社会性の発達に悪い影響を及ぼすことがあります。

テレビ・スマホを見せる時間は、多くても合わせて1日**2時間まで**を目安にしましょう。また、授乳中・食事中は養育者と子どもがお互いに集中できるようにテレビを消し、スマホは机に置いておきましょう。



## 子どもの安全を守るための事故防止！！

ハイハイができるようになると、赤ちゃんの行動範囲はぐんと広がります。赤ちゃんが自由に動き回れるように、安心・安全な環境を整えましょう！

### キッチン

**刃物、食器**など赤ちゃんが触ると危険なものは片付けておきましょう。棚の前に、外側から鍵をつけるようにしましょう。入口に柵等を作り、入れないようにすると安心です。



### リビング

誤飲の危険がある細かいものや、火傷の原因となる熱源などは、赤ちゃんの手の届かないところへ片付けるようにしましょう。不安定な物につかまって転倒することもあるので家具の角には**コーナーガード**をつける等して、気を付けましょう。



### 風呂・洗面所

水の事故予防のため、**入らせない・残し湯をしない**ようにしましょう。浴槽・洗濯機の近くに踏み台となるものを置かないようにしましょう。

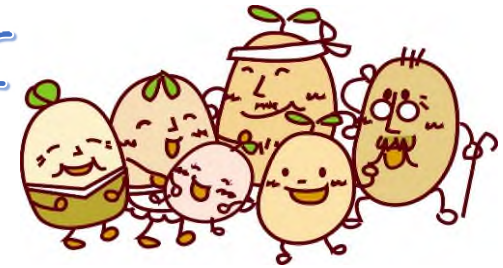


出典：遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表（九州大学小児科改訂版） 乳幼児の発達障害診療マニュアル 健診の診かた・発達の促しかた、イラストでよくわかる0～6歳児の発達と保育、1歳6か月児のびのび子育て、赤ちゃんとは言葉育てるおとなのかかわり、母子の愛着形成についてこれから始まる育児の前に知っておきたいこと、乳幼児心理学

## まちかど ほっと相談室

岡崎市保健部健康増進課 母子3係  
TEL:(0564)23-6962  
FAX:(0564)23-5071

## 月齢ごとの発達と遊びについて (7～12か月編)



岡崎市健康・食育キャラクター  
まめ吉と家族

発達の進み具合は、その子その子で異なります。

### 7か月児

《発達の目安》

- 【運動】 手の支えなしで、座れるようになります。座ることで視界や興味が広がり、ハイハイにチャレンジするようになります。
- 【社会性】 大人の親しめと怒った顔を理解できるようになります。
- 【言葉】 おもちゃに話しかけたり、大人の話し方で感情を聞き分けられるようになります。

《発達を促す遊び》

子どもと向かい合わせの位置に座り、子どもの目を見ながら「こっちだよ」と声をかけ、ハイハイを促す

### 8か月児

《発達の目安》

- 【運動】 座った姿勢の時に、身体を回転して後ろの物も取れるようになります。
- 【社会性】 人見知りをする子どももいます。
- 【言葉】 「マ、バ、パ」などの発声が出るようになります。

《発達を促す遊び》  
いないいないばあ  
手遊び歌

短期記憶の発達が進みます。

積極的に遊ぶと言葉の発達を促すことに繋がります！

### いないいないばあのバリエーションを増やすアイデア

- 声色を変える。
- 歌うように言ってみる。
- 顔を出すたびに、表情を変える。
- 手ではなくタオルで顔を隠す。



## 9か月児

《発達の見安》

【運動】 つかまり立ちが可能になります。親指を使って、物をつかめるようになります。

【社会性】 おもちゃ等をとられると不快を示すようになります。

【言葉】 「タ、ダ、チャ」などの発声が出るようになります。

### ワンポイントアドバイス

養育者がいないと、赤ちゃんは不安になってしまいます。見守られている安心感の中でのびのび遊べるように、養育者は赤ちゃんの目の届くところにいるようにしましょう。



《発達を促す遊び》

やり取り遊び「ちょうだい」「どうぞ」「ありがとう」等

いないいないばあなどの“記憶遊び”

まねっこ遊び（電話のまね等の関わり方のバリエーション）

ハイハイしているお子さんをハイハイで追いかけたり、

よつんばいになってトンネルを作って、同じ目線でハイハイを促す



## 10か月児

《発達の見安》

【運動】 ハイハイで移動したり、親指と人差し指で物をつまむことができます。

【社会性】 「泣く」以外で欲求を示すようになり、1人遊びもできるようになります。

ジェスチャーをみて大人のまねができるようになります。

【言葉】 「ママ」「パパ」と聞くと、お母さん、お父さんを見たり、初めて見るおもちゃの

名前を覚えたりします。20語くらいの言葉の意味を分かるようになります。

「指差し」を通して自分の気持ちを伝えるようになります。

ほしいものに対して「あれとって」と指差しをしたり、「あれ見て」と共感を意味する指差しができるようになるので、それらの指差しができた時に「これは〇〇だね」や「〇〇が欲しかったんだね」等と声をかけるようにしてみましょう。そうすることで、赤ちゃんは、言葉の果たす役割を実感していきます。



## 11か月児

《発達の見安》

【運動】 伝い歩きをしだす子もいますが、慎重な性格の子の場合だとなかなか歩き出さないこともあります。

【社会性】 人見知りをするようになり、後追いが激しくなる時期です。

【言葉】 大人の声をまねようとしていたり、「バイバイ」や「さようなら」の言葉に反応するようになります。やり取り遊びなどを通して、動作と言葉が結びつくようになります。



赤ちゃんから離れる時は、「少し隣の部屋に行くね。」と赤ちゃんに優しく声掛けするようにしましょう。

《発達を促す遊び》

向かい合って座りボールを転がしたり投げたりする  
絵本の読み聞かせ



まずは絵本に興味を持ってもらえるように！

### ワンポイントアドバイス

子どもが、歩けるようになったら養育者は転倒に注意しながら後ろからついて歩くようにし、車などが通る危険な場所では、絶対に手をつながないとだめと知らせるようにしましょう。

## 12か月児

《発達の見安》

【運動】 座った状態から立ち上がることができるようになります。

親指と人差し指の先のほうで物をつまむことができるようになります。

【社会性】 大人のまねが上手になります。（例：ばいばい、電話のまねなど）

【言葉】 有意語（「ママ」「パパ」「マンマ（ごはん）」など）を1～2語、正しくまねることができるようになります。



《発達を促す遊び》

クレヨンなどでのなぐりがき

いろいろなもので、やりとり遊び



「ちょうだい」「どうぞ」

